

# レインボー

今回の言葉物語は、大当たり時に発生しやすいレインボー「虹色」について掘り下げてみたいと思います。

## 始まりは単なる「表現」

現代において、色の区分がない虹色（レインボーカラー）には共存・多様性を象徴する色、また虹そのものや虹色に光を放つ彩雲等を幸運の意味にとらえる風習も多くあります（地域国により不吉の前兆とするものもあります）。つまりレインボーカラーには何故か人間の吉兆を求める側面があります。また最近では同性愛の象徴としてこれらの意味を汲んだレインボーフラッグを使用する例も

あります。

さて我等業界でのレインボーは、その色彩を表現できる液晶などハード面の搭載まで実現することは難しく、図柄の一部で幸運のしるしと

して採用す

るにとどま

りました。

代表的なも

のは199

0年（平成

2年）登場のユニバーサル「リパティベル4」に採用された虹色7図柄あたりでしょう。現在のように、七色に光り輝く役物や大きな液晶画面の演出に比べたらなんとささやかな虹かと思えますが、この虹図柄は現在でも5号機で復活採用されるほど、歴史に残る美麗図柄として語られるものです。



登場当時ユニバ7と呼ばれた大型のボーナス図柄に、虹色の図柄が追加された美羅7図柄「リパティベル4」  
©UNIVERSAL

## 「確定」ではなかった初期

1993年末に青色LEDが開発され、遊技機もLED装飾の幅が飛躍的に発展することとなりますが、液晶の発展はそれよりも一足早く始まりました。ところが、虹色の扱いは各社まちまちであり、現在のように「発生」大

当り等濃厚」ではありませんでした。

たとえばパチンコで有名なのは、豊丸

産業「CRドラゴン伝説2」でリーチ

中に背景からレインボードラゴンが発

生することがありますが、これは単に

スーパーリーチ発展を示唆するもので、

この機種でのプレミアムは白黒ドラゴ

ンというモノトーンのドラゴン登場で

した。パチスロでは初代の「エヴァン

ゲリオン」ではレア小役示唆ですし、

「哲也」では全役示唆であったので、

リプレイが揃うということもありまし

た。このように、つい6、7年ほど前

まではレインボーカラーというものの

扱いは各社で対応が異なりました。そ

して基本的にチャンスアップである方

向性はそろいつつ、徐々に激熱図柄と

なり、確定濃厚図柄となっていくので

した。

## 業界唯一の統一演出に

パチンコでは2008年登場の

「CR牙狼XX」に搭載したレインボ

ー演出あたりから、レインボー＝大当

たり濃厚演出として各社足並みが統一

されつつある流れになりました。逆に

確定ではない機種についての「裏切ら

れ感」の大きさというネガティブな情

報の方が出回り、徐々にその足並みは

ひとつに向かいます。また最近ではパ

チスロでの大量上乘せやパチンコでの

15・16R大当たり時、保留内大当たり確定

時での出現時でも採用されるようにな

りますが、総じて出玉獲得が可能な大

当たりなどで採用されています。



CRルパン三世で出現した大当たり濃厚保留玉「玉ちゃん」。周りの炎がレインボーになっている  
©HEIWA  
©モンキー・パンチ/TMS・NTV

現状の複雑な遊技フローでもヘビ

ューザーなら理解まで時間はかかるな

いでしようが、そうではないユーザー

はあれよあれよという間に遊技機は撤

去され、十分に楽しめないのが現状で

す。その中で、このレインボー演出は

現状唯一と聞いていい業界統一演出と

言えます。要はパッと座っても発生し

た瞬間何が起こったかを理解出来る、た

だ一つ分かるものになりつつあるので

す。色々と足並みが揃わない業界と擲

揄されることも少なくなりますが、出

来ればこれくらい演出は、誰もが理

解出来る共通演出として育ててもらい

たいものです。（大和田敏男）

## 足並みそろって「幸運」に